

## 那須塩原市子ども・子育て会議第12回会議における議題とその検討結果について

### ○議題

#### (1) 保育園・認定こども園・地域型保育事業の利用定員の確認について【資料1】

##### ◆議題の概要

- ・平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度が施行されまして市が特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者の利用定員を定めることとなっている。
- ・子ども・子育て支援法第31条第2項および第43条第3項の規定により利用定員を定めるにあたっては子ども・子育て会議の意見を聴かなければならないとされていることから、本会議にかけ、意見を聴取するもの。
- ・平成28年度における利用定員の新規設定、変更、確認の辞退等について、それぞれ表に基づき説明。
- ・平成28年度利用定員及び保育認定子どもの定員枠については、保育園23園、認定こども園7園、地域型保育7園となり、保育園は27年に比べて78人増、認定こども園は214人増を図っている。地域型保育が117人から94人になっているのは、「ひかり みどり保育園」が保育園に移ったことによるもの。合計すると2,643人の利用定員となり、27年度と比較して269人、26年度と比較する663人の増となる。
- ・平成28年度特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の入園申込状況については、平成27年10月から市において計4回の選考を実施している。選考結果を表により説明。
- ・那須塩原市子ども・子育て未来プラン（子ども・子育て支援事業計画）について、平成28年度中に見直し予定。

##### ◆委員からの主な意見

- ・認可定員と利用定員の人数に開きがある施設があるが、市が決めているのか。  
→事業者の申請に基づき、市が決定している。
- ・入園待ち児童がいる中で定員の弾力運用の軽減化を進めるにあたっての経緯を説明して欲しい。  
→子ども達の安全安心な保育を図る必要があること、施設における施設型給付費の減額等を考慮したうえで、出来るだけ軽減化を図っていきたい。
- ・入園待ち児童の状況、施設の利用者数、今後の保育需要等を把握・分析したうえで、保護者等への情報提供や小規模保育事業等のPRの充実など、必要な対策を講じて欲しい。

#### (2) 家庭的保育事業等の認可について【資料2】

##### ◆議題の概要

- ・平成27年4月1日付けで認可した「たけのこキッズハウス」について、設置

者より職員処遇の充実のため、法人化したい旨の申出があり、審査を行った結果、認可することが適当であると判断し、準備を進めている。

◆委員からの主な意見

- ・小規模保育事業や家庭的保育事業に対する適正な調査や指導監督をお願いしたい。

○その他（報告事項）

◎放課後児童クラブ整備計画による定員数について【資料3】

◆概要

- ・平成27年度…計65人増  
（南児童クラブ）…南公民館の敷地内に新たに増設。45人の定員増。27・28年度の2ヶ年事業。  
（まつのみくらぶ）…共英小学校の空き教室を利用していたものを、新たに専用棟を整備。20人の定員増。
- ・平成28年度…計80人増  
（元気っ子くらぶ）…東原小学校体育館の2階を利用していたものを、新たに専用棟を整備。15人の定員増。  
（なかよし児童クラブ・三島児童クラブ）…三島小学校の近くにある2棟に加え、新たにもう1棟、第3番目の児童クラブを整備。40人の定員増。  
（わんぱくくらぶ）…稲村小学校の空き教室を利用していたものを、新たに専用棟を整備。25人の定員増。  
（西児童クラブ）…西公民館の敷地内にある既存の施設を分割利用。定員の増はなし。
- ・平成29年度…計85人増  
（槻沢児童クラブ）…狩野公民館の一室を利用していたものを、新たに専用棟を整備。25人の定員増。  
（大山児童クラブ・大山あおぞら児童クラブ）…大山公民館の敷地内に、新たに専用棟を整備。40人の定員増。  
（のびっこくらぶ）…大原間小学校の敷地内にあるプレハブを利用していたものを、新たに専用棟を整備。20人の定員増。
- ・平成30年度…計80人増  
（関谷児童クラブ）…関谷小学校の敷地内に、新たに専用棟を整備。40人の定員増。  
（なべっこくらぶ）…鍋掛小学校の敷地内に、新たに専用棟を整備。40人の定員増。
- ・平成31年度…計40人増  
（おひさまクラブ）…高林小学校北側の保育園跡地に、新たに専用棟を整備。40人の定員増。

(東児童クラブ) …東小学校の空き教室を利用して開設。定員の増はなし。

- ・ 5年間で合計350人の定員増を計画。

#### ◆委員からの主な質問・意見等

- ・ 児童クラブにおける今後の需要と供給は精査しているか。整備計画の見直し等はあるのか。  
→整備計画策定時点においては、6年生までの受入れについては想定していなかったが、現在の計画でも供給体制は整うものとする。
- ・ 整備によってハード面では充実するが、指導員・支援員の確保が課題となる。

### ◎保育の質の向上のためのアクションプログラムについて【資料4】

#### ◆概要

- ・ これまでの第1期計画を継承して、第2期として策定。
- ・ 第1期における反省と評価  
①保育実践の改善と向上 ②子どもの健康や安全確保 ③保育士等の資質・専門性の向上 ④保育を支える基盤の強化
- ・ 市や保育園等、各々がその役割を果たしながら一体となり取り組むことが重要であり、情報共有や検証を通じ、必要に応じて本計画の見直しを行いながら推進する。

#### ◆委員からの主な質問・意見等

- ・ 保育園と同様に、学童保育についても保育の質の向上を求めて欲しい。
- ・ 虐待防止対策については、十分に取り組んで欲しい。

### ◎平成28年度当初予算の概要（子ども未来部関連）について【資料5】

#### ◎保育園整備計画（後期計画）【改訂版】について【資料なし】

#### ◎発達支援システムについて【資料なし】

#### ◆概要

- ・ 一般会計当初予算総額 平成28年度 472億6,000万円（対前年比4.4%増）
- ・ 子ども・子育てに関する事業 平成28年度 71億9,024万円（対前年比6.7%増）
- ・ 子育て応援券事業について、平成28年度も継続して実施となるが、新たに「子育て支援米」事業も始まることから、市全体としての子育て世帯への支援施策をあらためて整理し、子育て応援券の交付額については、0歳児が24,000円、1・2歳児が12,000円となる。
- ・ 保育園整備計画と発達支援システムについては、3月議会において可決された

め、4月以降に計画書を印刷製本し、各委員あてに配付予定。

#### ◆委員からの主な質問・意見等

- ・以前の会議において、給付型の奨学金についての意見があがっていたが、その後の経過は。  
→教育委員会部局において、高校や大学等に進学するときの給付型の奨学金制度を設けた。
- ・認可保育園等整備事業について、現在よりも柔軟な対応が出来るような補助金の在り方を検討すべきである。
- ・子育て応援券の実績について教えて欲しい。  
→交付者数は約3,000人。実際の応援券の利用は約50%。任意の予防接種、チャイルドシート・ベビーカー購入、読み聞かせ絵本の購入の順で利用されている。
- ・応援券の金額について、1・2歳児の金額を減らすということだが、券を使用できる物を増やすということは考えないのか。  
→当初の目的が「物の購入」ではなく「サービスの利用」であったため、新規事業（子育て応援米）の実施等、市全体の子育てサービスを整理したうえでの対応となった。
- ・応援券の対象サービスである「任意の予防接種」について、市内のすべての小児科で使用できるようにして欲しい。
- ・応援券についての保護者の理解が不十分なので、様々なかたちでのPRをお願いしたい。
- ・子どもの貧困対策についての進展状況は。  
→現在は貧困対策に関する説明会や研修会等に参加し、先進事例等の把握に努めている状況。市が現在行っている、貧困対策に繋がる事業を整理し、地域ニーズを把握した上で、今後の国や県の方針等を見極めたうえで、市としての子どもの貧困対策を講じていきたい。
- ・待機児童対策を進めていくうえで、ハローワーク等が所管する、育休中の給付金制度についても、市民に対して周知していてもよいのではないか。